

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—279—

2017.1.19

◎ジュエリー文化史サロン・解説希望作品を募集します  
一宮坂敦子

5月27日開催のジュエリー文化史サロン

「装身具に用いられる蒔絵・螺鈿の基本—歴史・素材・技法」

(レポート：角元弥子さん)

では、日本の装身具に欠かせない蒔絵や螺鈿について  
解説いただきます。

もし、今までハンドリングゼミで実際に手に取ってきた作品の中で

「あの櫛の技法がよくわからなかったけれど、ぜひ知りたい」

「あの螺鈿が気になっていた。何の貝か知りたい」などなど、

解説をご希望される作品がありましたら

事務局深谷さん宛([info@jj-craft.com](mailto:info@jj-craft.com))にお寄せくださいませ。

角元さんが調べて、当日解説していただきます。

これまでにハンドリングした作品はこちらで見られます。

<http://www.j-bunka.jp/work/worktop.html>

募集締め切り：1月31日(火)まで

\*このような書き方でお知らせください。

(例)

第5回 江戸中期から後期初めの髪飾りを中心に

図4-2-1 (中期)

山高形タイプの蒔絵櫛

赤と金が混ざったような色合いはどうやって出しているのか

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事 戸倉博之 spina@precious-chroma.com